



# 2019年3月期 第2四半期決算説明会

2018年11月21日

代表取締役社長  
實吉 政知

	ページ
<b>2019年3月期 第2四半期決算</b> ……	<b>2-17</b>
<b>当社の経営戦略</b> ……	<b>18-30</b>
<b>&lt;ご参考&gt;</b> ……	<b>31-32</b>



# 2019年3月期 第2四半期決算

## ● 決算サマリー：対前期比で大幅増収・増益を達成

(単位：百万円)

	2018/3期 2Q累計		2019/3期 2Q累計		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	3,414	100.0%	4,166	100.0%	+22.0%
営業利益	411	12.1%	658	15.8%	+59.9%
経常利益	409	12.0%	660	15.9%	+61.4%
四半期純利益	388	11.4%	475	11.4%	+22.5%
1株当たり純利益(円)	45.1	—	55.5	—	+23.1%
1株当たり純資産(円)	1,415	—	1,530	—	+8.1%

## ● 品目別売上高（全体）

（単位：百万円）

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2018/3期	2019/3期	
				2Q累計	2Q累計	前期比
採血管準備装置	3,948	3,622	3,523	1,034	1,515	+46.6%
構成比	43.7%	42.8%	40.7%	30.3%	36.4%	—
検体検査装置	544	534	517	224	322	+43.5%
構成比	6.0%	6.3%	6.0%	6.6%	7.7%	—
消耗品等	4,290	4,299	4,613	2,155	2,328	+8.0%
構成比	47.5%	50.8%	53.3%	63.1%	55.9%	—
その他	249	0	0	0	0	—
構成比	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
合計	9,032	8,457	8,654	3,414	4,166	+22.0%

## ● 対前期比決算のポイント・トピックス

### 売上高 増加要因

#### 採血管準備装置

⇒更新需要、\*RFIDの影響もあり売上増加  
＜ 国内33%増収、海外(中国好調)184%増収 ＞

#### 検体検査装置

⇒ G700、G-naviともに好調  
＜ 国内33%増、海外88%増 ＞

#### 消耗品等

⇒ 装置の累計販売台数増加に伴う消耗品の好調  
＜ 国内7%増収、海外13%増収 ＞

### 販管費 増加要因

採血管準備装置関連の研究開発費が増加  
人件費上昇（全国拠点でサービス体制の強化を実施）

### トピックス

採血業務支援の最新システム「Assist More」の販売開始

\*RFID(Radio Frequency IDentification) … ICタグの個別情報を無線通信によって読み書きするシステム

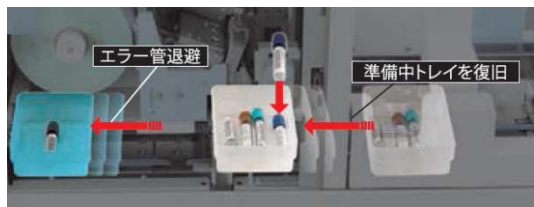
## ● 新製品 BC・ROBO-8001 RFID について

4  
つ  
の  
新  
機  
能



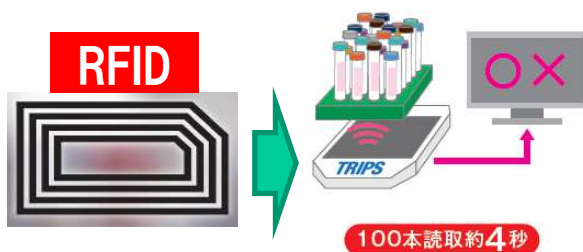
### IoTサポート

⇒ 自動起動機能 等



### 自動復旧

⇒ 発行動作の停止を回避



### RFID連携強化

⇒ 検体トレーサビリティの強化



### 自動学習

⇒ メンテナンス時期のアラート 等

自動採血管準備装置  
**BC・ROBO  
8001**  
RFID



## ● 採血業務支援システム Assist More

**採血受付**

採血の診察券、受付票の読取データに応じて採血整理券を自動発行

患者呼出  
採血情報表示  
患者照合  
採血カルテ登録

**採血カルテ登録**



採血後画面タッチで患者情報を入力。採血カルテはピクトグラムを多用し、登録も簡単。患者の詳しい採血情報の共有も可能

**採血管準備**

**BC・ROBO**

バーコードラベルを貼り付けた採血管、採血指示書、手貼ラベル、コメントラベルをトレイにまとめて自動発行

オールインワン

採血管

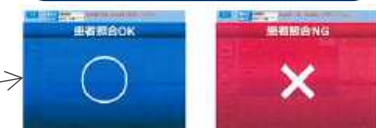
採血指示書

手貼ラベル

コメントラベル



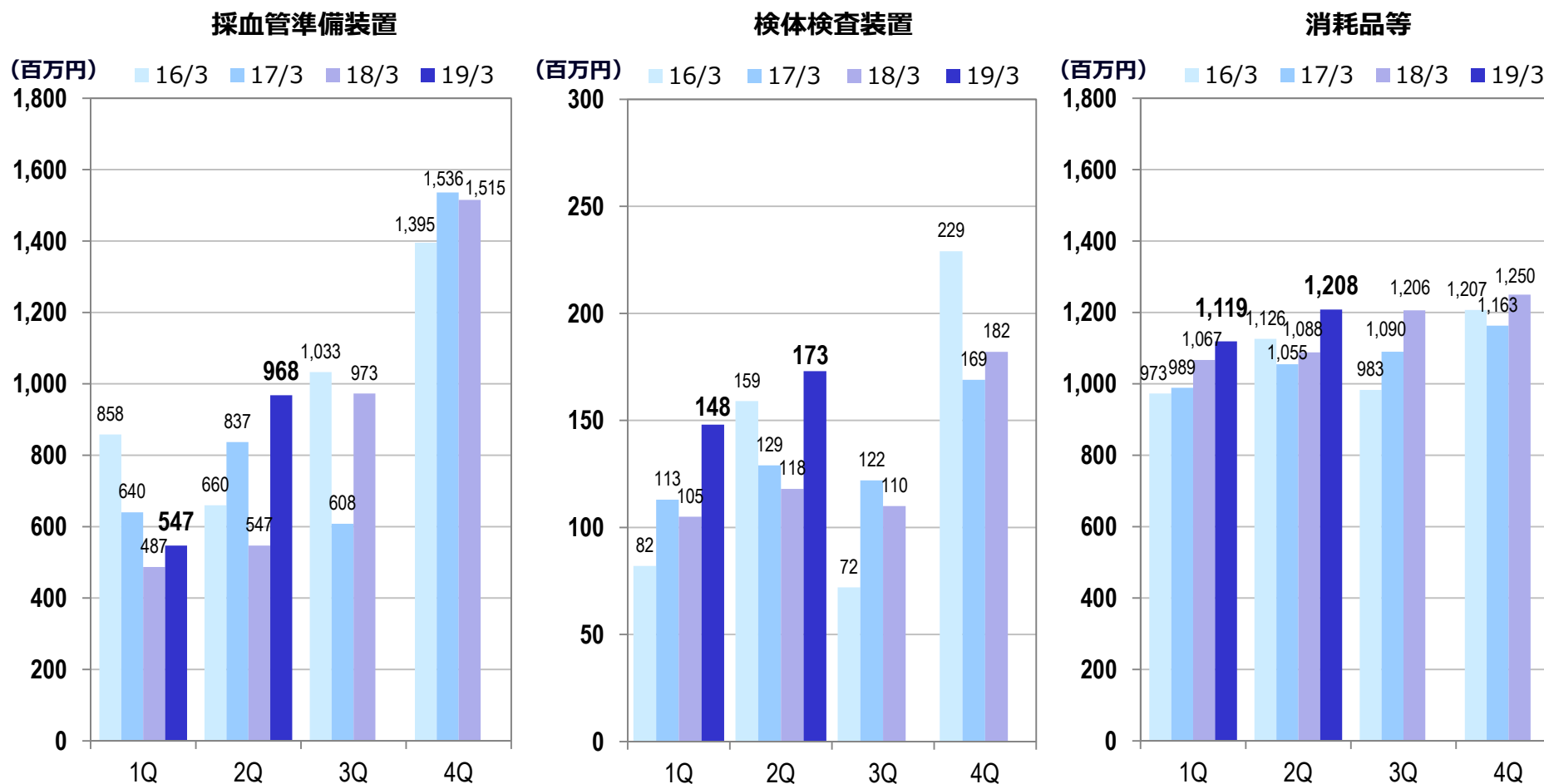
**患者照合**



患者照合の上、RFIDで採血管バーコード情報を瞬時に照合 ⇒ 安全性・効率性アップ



## ● 品目別売上高 (四半期別)

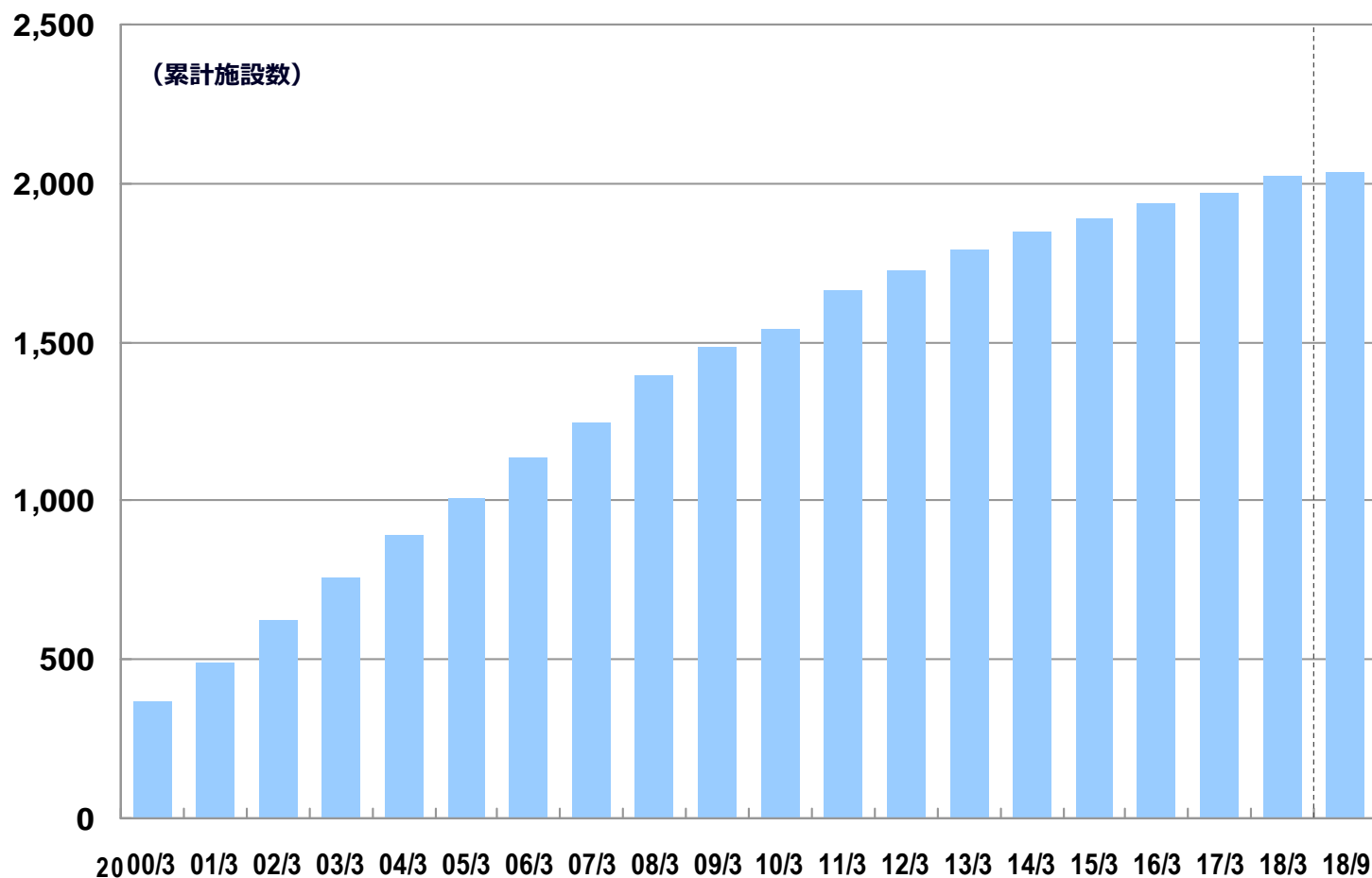


## ● 採血管準備装置 – BC・ROBO納入施設数

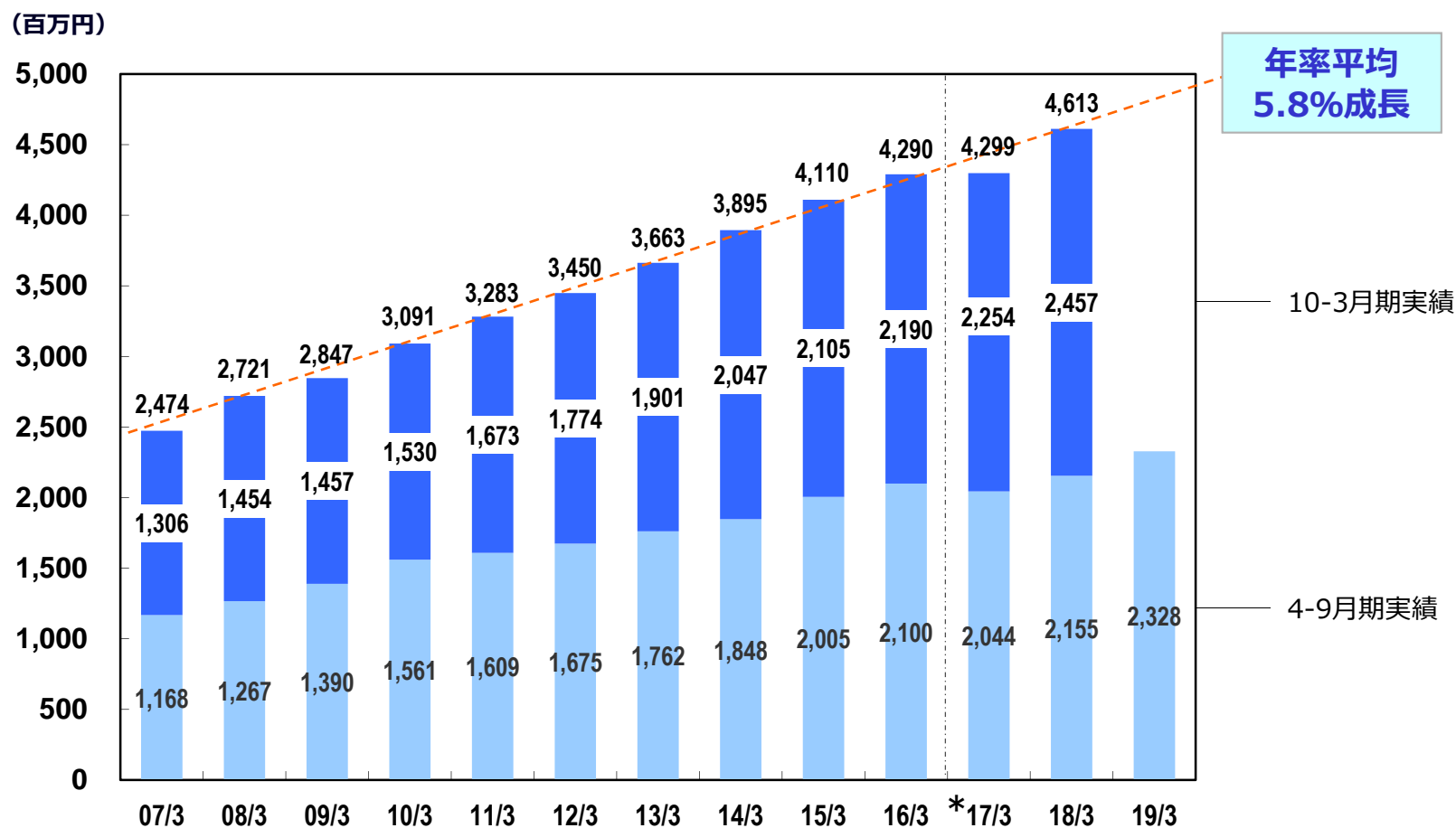
	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2018/3期	2019/3期	
				2Q累計	2Q累計	前期差
納入施設数	262	275	298	87	161	+74
国内	203	177	209	64	75	+11
うち 新規	48	32	50	15	12	△3
うち 更新	155	145	159	49	63	+14
輸出	59	98	89	23	86	+63

- ・国内：新規参入は12施設  
更新需要が回復、高付加価値システムの導入進展
- ・輸出：中国市場を中心としたアジア向けの販売が急増

## ● 採血管準備装置 – 国内納入施設の推移

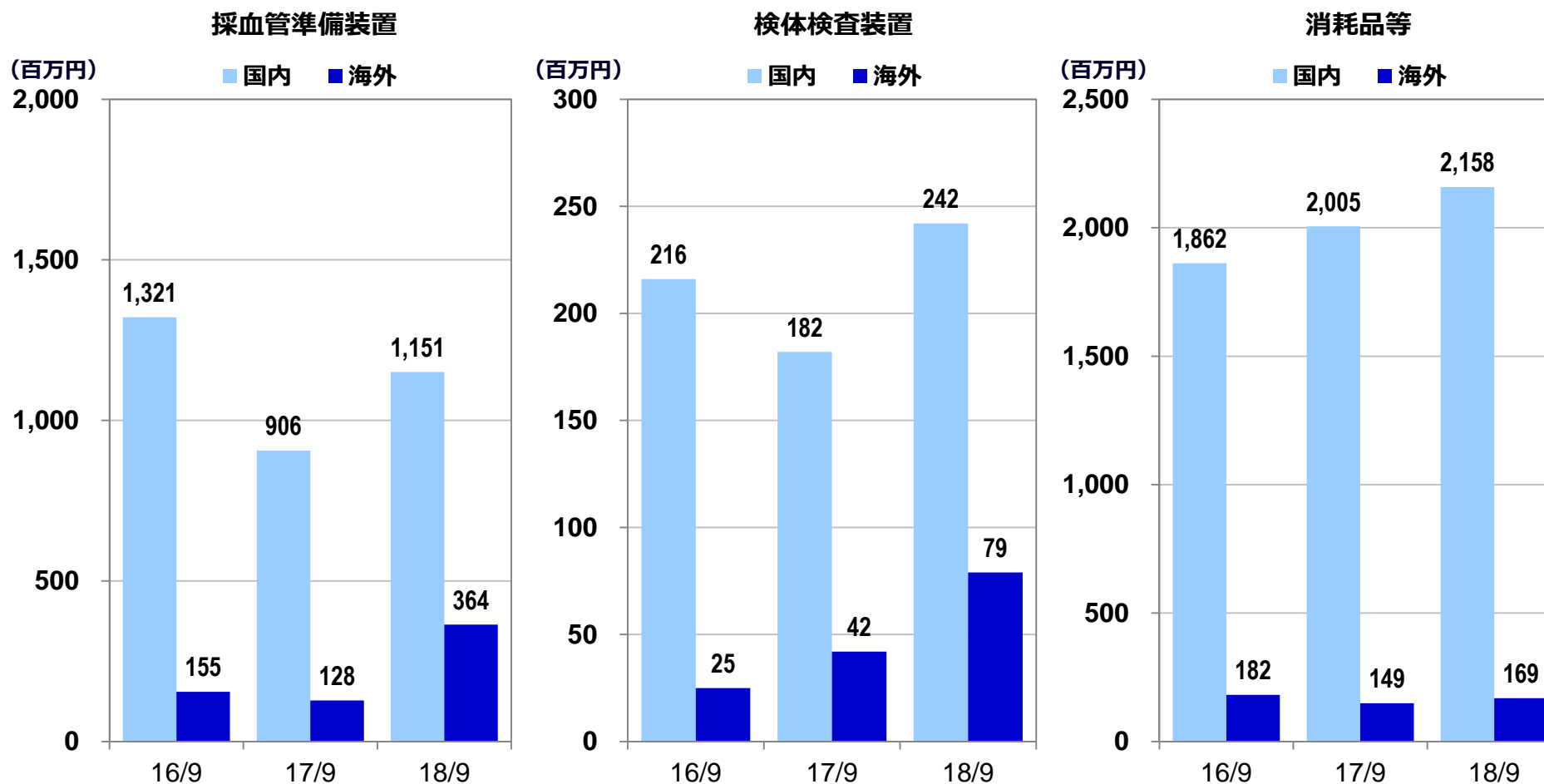


## ● 消耗品等（含む保守料）の売上高推移

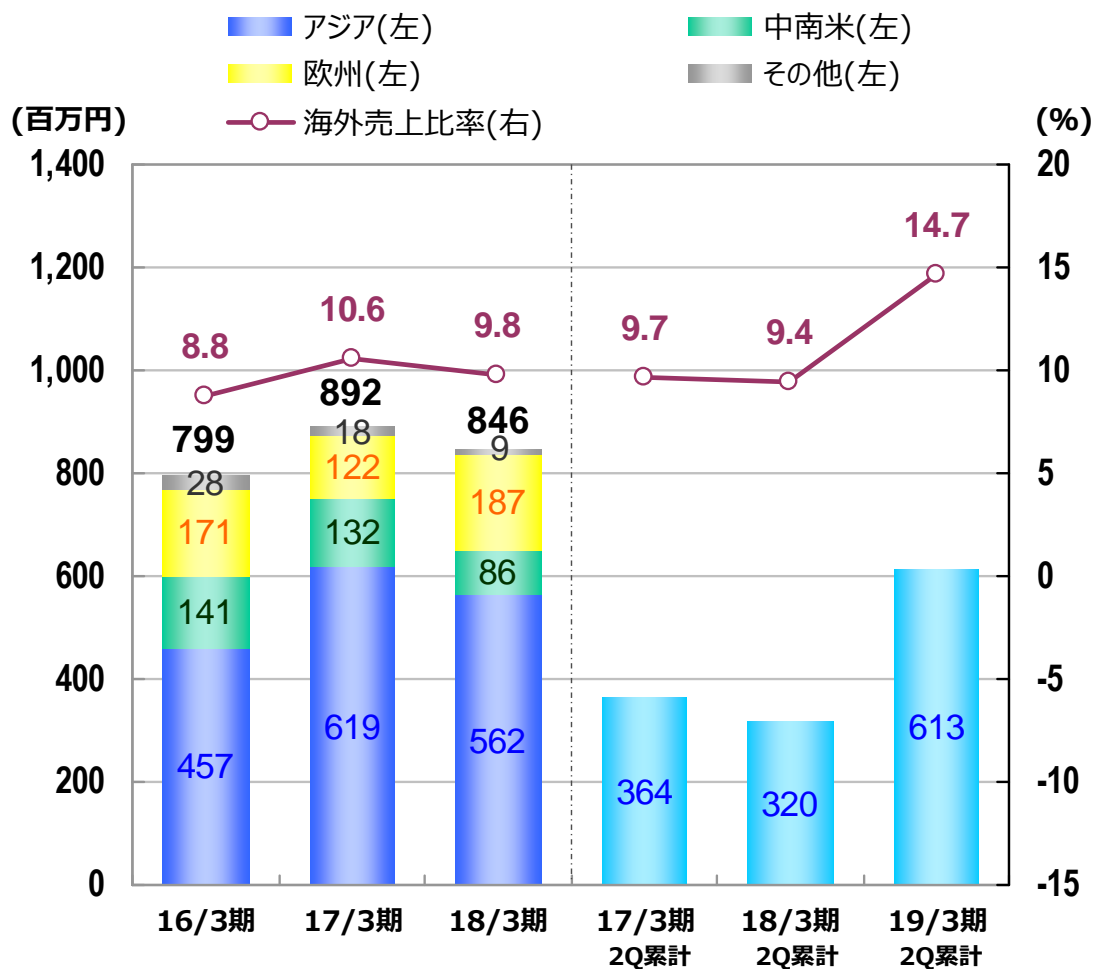


\* 17/3期より保守料の計上方法を変更

## ● 品目別売上高（国内・海外別）



## ● 海外売上高



### [2019/3期 2Q累計]

#### 採血管準備装置

…中国市場を中心に、小型の製品の販売が伸長

#### 検体検査装置

…アジア、中南米向けの販売増加

#### 消耗品等

…納入施設数の累増効果と、前期受注分の一部における売上の期ズレ計上

## ● 要約損益計算書

(単位：百万円)

	2018/3期 2Q累計		2019/3期 2Q累計		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	3,414	100.0%	4,166	100.0%	+22.0%
売上原価	1,812	53.1%	2,200	52.8%	+21.4%
売上総利益	1,601	46.9%	1,965	47.2%	+22.7%
販売管理費	1,190	34.9%	1,307	31.4%	+9.9%
営業利益	411	12.0%	658	15.8%	+59.9%
営業外損益	△2	—	2	—	—
経常利益	409	12.0%	660	15.9%	+61.4%
特別損益	19	—	14	—	—
法人税、調整額等	40	—	199	—	—
四半期純利益	388	11.4%	475	11.4%	+22.5%

【利益】 販売管理費の増加（採血管準備装置にかかる研究開発費の増加、サービス体制強化により人件費増加等）を売上高の伸びが吸収し、大幅に回復

## ● 要約貸借対照表【資産の部】

(単位：百万円)

	2018/3期末		2019/3期 2Q末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
<b>流動資産</b>	<b>13,782</b>	<b>89.0%</b>	<b>13,435</b>	<b>88.9%</b>	<b>△347</b>
現預金	9,327		9,429		+102
売上債権	3,221		2,449		△771
棚卸資産	1,195		1,487		+292
その他流動資産	39		70		+29
<b>固定資産</b>	<b>1,710</b>	<b>11.0%</b>	<b>1,681</b>	<b>11.1%</b>	<b>△29</b>
有形固定資産	1,256		1,241		△14
無形固定資産	19		18		△0
投資等	434		420		△13
<b>資産合計</b>	<b>15,493</b>	<b>100.0%</b>	<b>15,116</b>	<b>100.0%</b>	<b>△376</b>



## ● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

(単位：百万円)

	2018/3期末		2019/3期 2Q末		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額
<b>流動負債</b>	<b>2,181</b>	<b>14.1%</b>	<b>1,703</b>	<b>11.3%</b>	<b>△478</b>
買入債務	1,233		908		△324
短期有利子負債	—		—		—
その他流動負債	947		794		△153
<b>固定負債</b>	<b>294</b>	<b>1.9%</b>	<b>294</b>	<b>1.9%</b>	<b>+0</b>
長期借入金	—		—		—
その他固定負債	294		294		+0
<b>負債合計</b>	<b>2,475</b>	<b>16.0%</b>	<b>1,997</b>	<b>13.2%</b>	<b>△477</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,017</b>	<b>84.0%</b>	<b>13,119</b>	<b>86.8%</b>	<b>+101</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>15,493</b>	<b>100.0%</b>	<b>15,116</b>	<b>100.0%</b>	<b>△376</b>

## ● 要約キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2018/3期 2Q累計	2019/3期 2Q累計	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	505	△500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101	△77	+24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△369	△385	△16
現金・現金同等物の増加額	534	41	△492
現金・現金同等物の期首残高	6,150	7,129	+978
現金・現金同等物の期末残高	6,685	7,171	+486
研究開発費	168	227	+59
設備投資実施額	11	13	+1
減価償却実施額	34	32	△2

フリーキャッシュフローはプラスで安定的に推移、研究開発投資等に活用を検討



# 当社の経営戦略

## ● 2019年3月期 業績見通し

(単位：百万円)

	2018/3期		2019/3期 (予)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
売上高	8,654	100.0%	9,300	100.0%	+7.5%
営業利益	1,491	17.2%	1,400	15.1%	△6.1%
経常利益	1,490	17.2%	1,400	15.1%	△6.1%
当期純利益	1,308	15.1%	900	9.7%	△31.2%
1株当たり純利益(円)	152.0	—	104.6	—	—
1株当たり配当金(円)	45.0	—	45.0	—	—
研究開発費	446	5.2%	800	8.6%	+79.4%

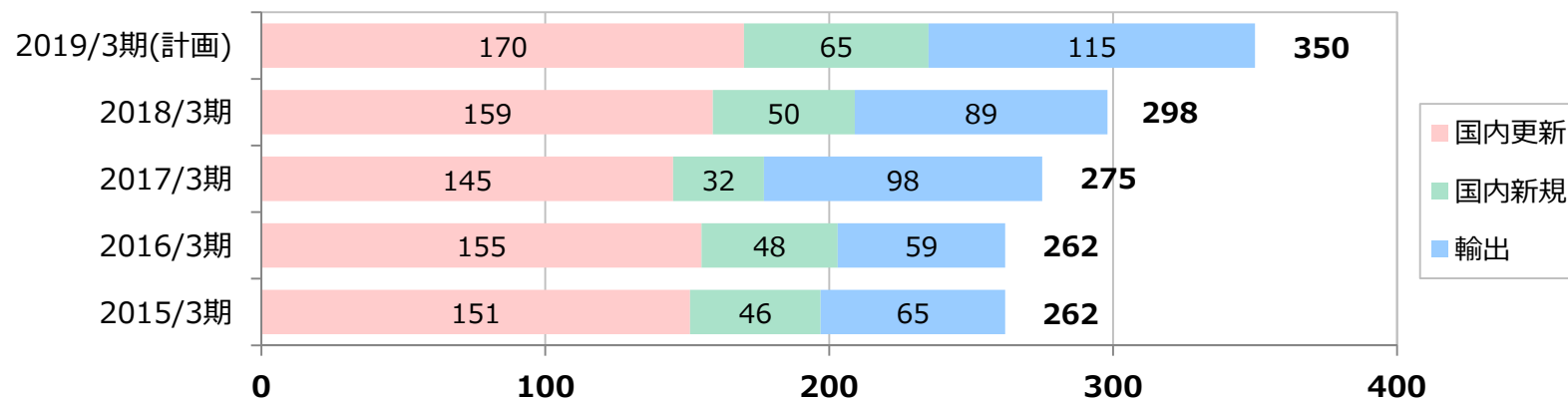
採血管準備装置の売上高回復を見込む一方で、研究開発費の増加を見込む

## ● 2019年3月期 品目別売上高見通し

(単位：百万円)

	2018/3期		2019/3期 (予)		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比
<b>売上高</b>	<b>8,654</b>	<b>100.0%</b>	<b>9,300</b>	<b>100.0%</b>	<b>+7.5%</b>
採血管準備装置	3,523	40.7%	4,040	43.4%	+14.7%
検体検査装置	517	6.0%	610	6.6%	+18.0%
消耗品等	4,613	53.3%	4,650	50.0%	+0.8%

### ROBO納入施設数



## ● 当社の基本戦略

### ▶ 中期的な経営環境

医療費抑制策は継続、予防医療・医療安全及び業務効率化への動き拡大

#### 【研究・開発方針】

**オンリーワン製品の投入**

#### 【営業方針】

- ・ **RFIDの利用による検体情報の統括管理ニーズの喚起**  
(外来/病棟の採血～検体管理、尿検体管理など)
- ・ **健診施設、クリニック等製品 小型採血管準備装置<BC・ROBO7>の展開**

## ● 営業戦略（国内）～基本戦略～

### ▶ 採血管準備装置

大病院 ⇒ 更新需要の捕捉  
中病院 ⇒ 新規開拓の加速  
健診センター ⇒ 販路拡大

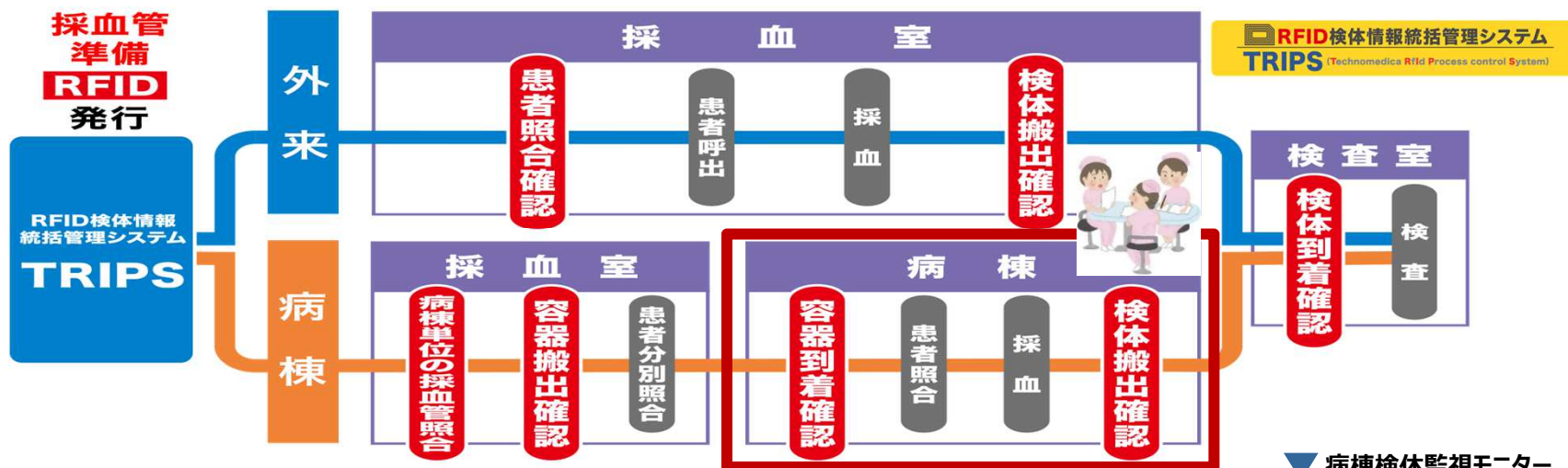
粗利率を維持しつつ  
新市場の開拓を目指す

※大病院に関しては、新型採血管準備装置BC・ROBO-8001RFIDと  
当装置から展開する検体情報統括管理システムに注力

### ▶ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院  
への販路拡大に取り組む

## ● 営業戦略 (国内) ~ RFID の病棟への導入 ~



▼ 病棟検体監視モニター

RFID検体搬送カート

▼ RFIDプリンタ





## ● 営業戦略（国内） ～販売強化～

### ▶ RFID

- ◆ BC・ROBO-8001 RFID（採血管準備装置）
- ◆ UA・ROBO-2000 RFID（全自動尿分取装置）
- ◆ u-TRIPS(RFID尿検体管理システム)
- ◆ TRIPS-Bt(RFID輸血患者情報管理・照合システム)



BC・ROBO-8001 RFID

### ▶ 新規販路開拓、販売機会の拡大

#### <採血管準備装置>

- ◆ BC・ROBO-7 … 健診施設、クリニック等

#### <検体検査装置>

- ◆ GASTAT-700モデル … 全方位で販売強化
- ◆ 酸化ストレスマーカー … 大学の研究室等

UA・ROBO-2000 RFID



## ● 営業戦略（国内） ～GASTAT-700モデル～

### ➤ 2017年3月発売の新製品



血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル

#### ★ 安心見守り機能

装置状態を IoT技術により、弊社コールセンターで監視（リモートメンテナンス機能の強化）  
⇒ 未然にトラブル発生を察知、防止して常時測定可能状態を維持

#### ★ 簡単操作

測定、メンテナンスのあらゆる操作に、直観的に把握、実施できるガイダンスを表示

#### ★ 電極の長寿命化

グルコース、ラクテート電極寿命が業界最長の3ヶ月を実現  
⇒ ランニングコストを大幅削減

※ テクノメディカは、血液ガス分析装置の国内唯一のメーカーです。

## ● 営業戦略（海外）

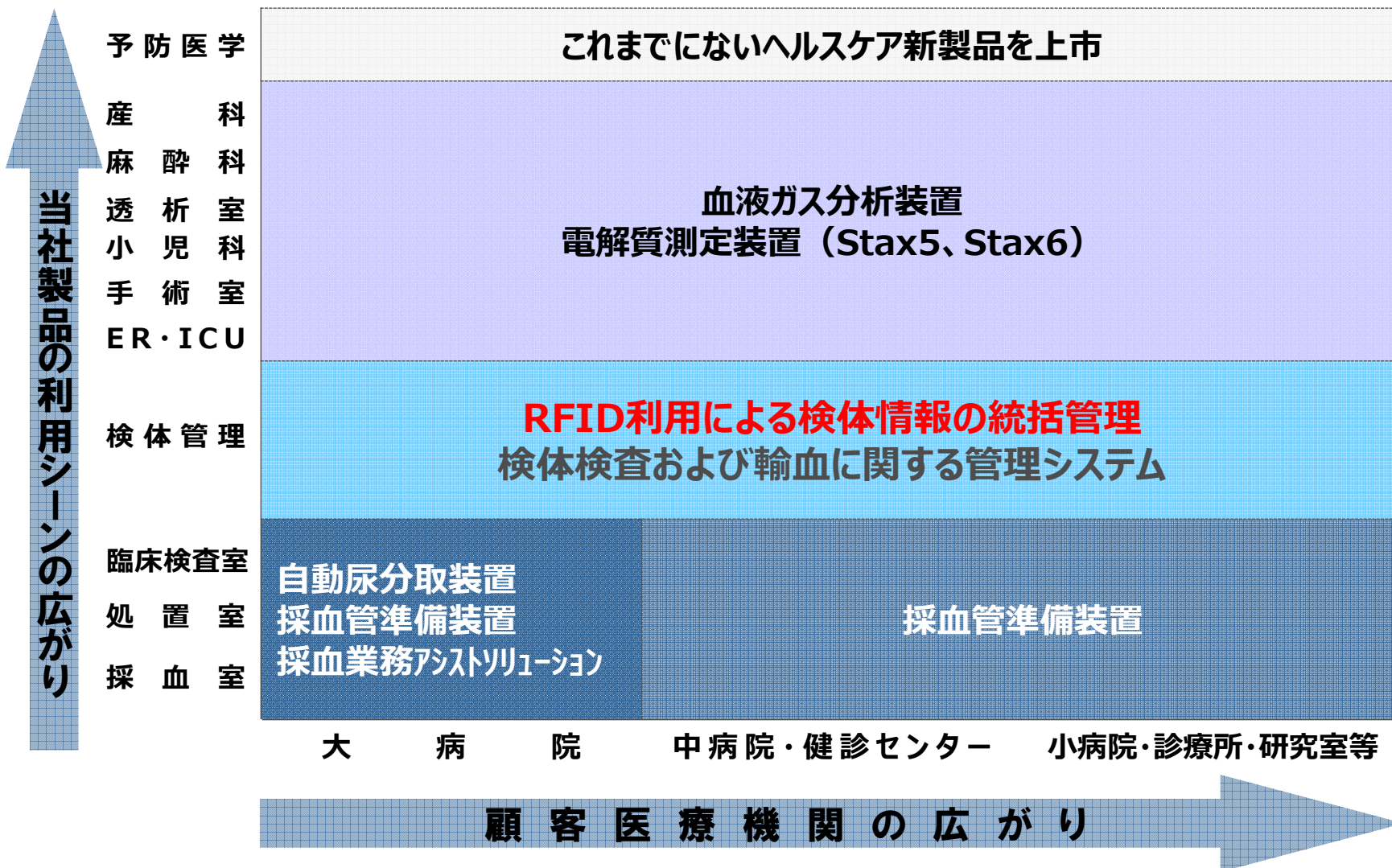
### ▶ 基本方針

**新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化**

⇒ **小型を中心に製品群を強化するとともに、人員の拡充をはかり、キメ細かく案件を捕捉**

- ・アジア、欧州、中南米で新市場の開拓
- ・増員による販売体制の強化

## オンリーワン製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



## 中期経営計画 基本方針

### 【国内事業】 信頼性及び品質の向上と開発技術の創造

- ⇒ 採血管準備装置の更新需要の確実な捕捉
- ⇒ 医療現場におけるRFID活用領域の拡大

### 売上増収を目指す

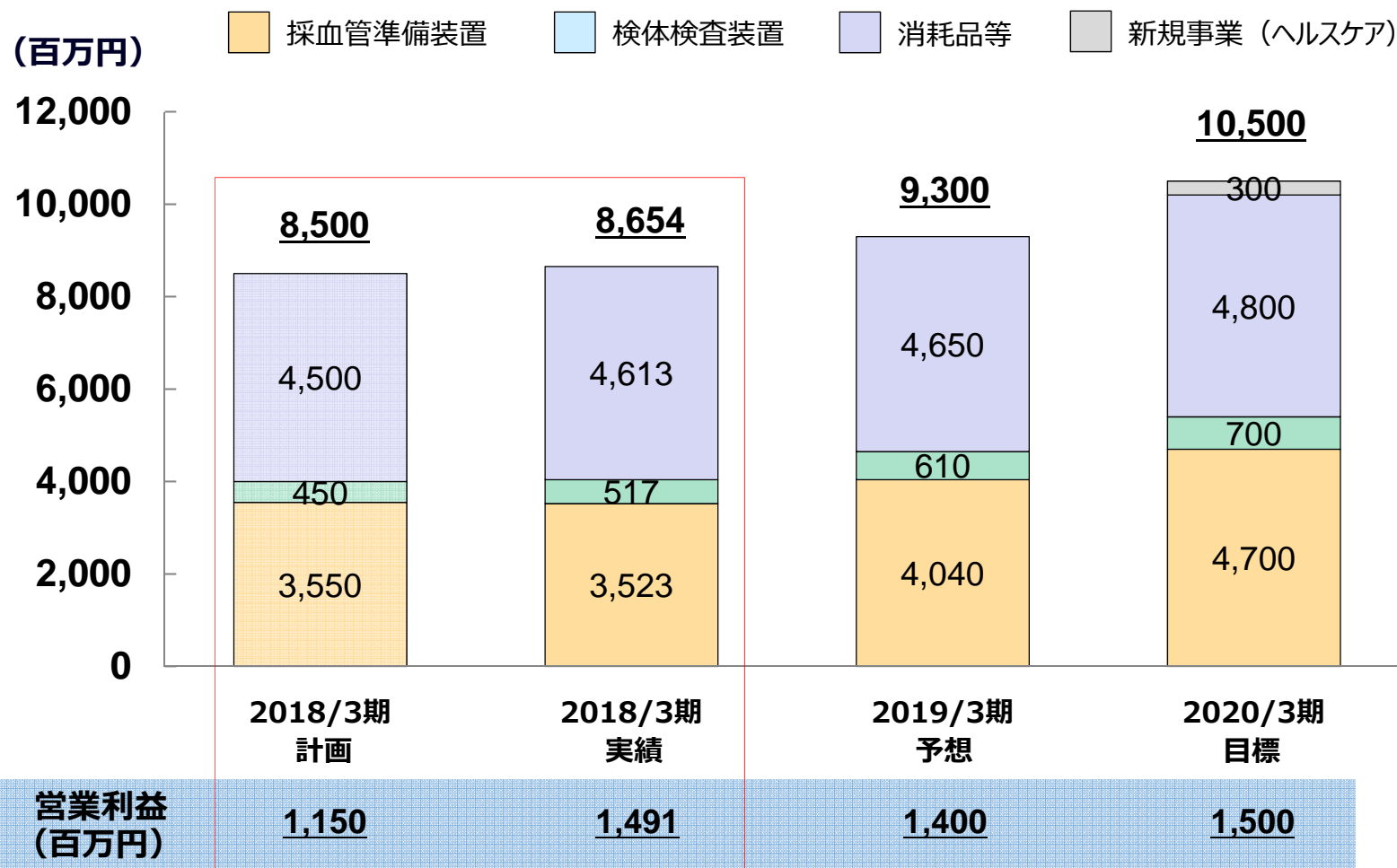
### 【海外事業】 ニッチマーケットに特化し、当社の技術力を生かした製品の拡販を目指す

### 【新収益源】 開発技術の向上により、ヘルスケア分野で存在感のある企業を目指す

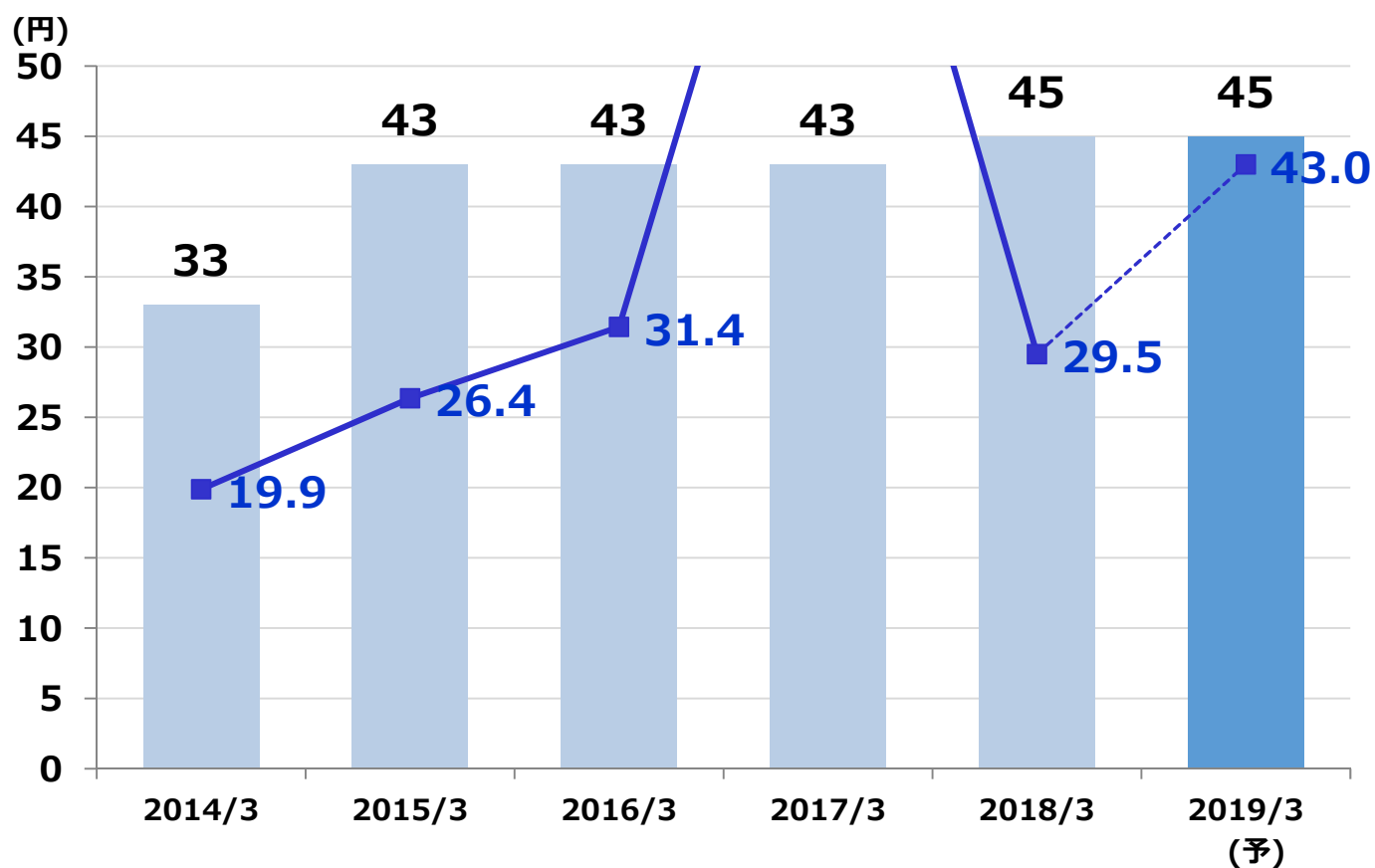
- ⇒ 採血管準備装置、血液ガス分析に続く第3の柱を確立し、ニッチマーケットで安定的な成長を実現
- ⇒ キーワード … 在宅医療、予防医学、先制医療、\*POCTなど

\*POCT … Point of care testing (臨床現場即時検査)

## 中期経営計画 売上目標



## 【配当性向の目標】 30%～40%を当面の目安として目指す



# <ご参考 1>



患者の検査情報



- トレイを置くだけで約 1 秒で番号表示
- トレイの中の採血管も同時に一括照合

## 検査室



不足が分かればすぐ病棟へ連絡  
まだ当直の看護師がいるため確認が可能



1本紛失  
の場合





## ● 品目別の主要製品について

		製品名				
採血管準備装置 (検体前処理装置)	 <p>採血管準備装置 BC・ROBO-8001RFID</p>	 <p>卓上型 採血管準備装置 BC・ROBO7</p>	 <p>RFID検体情報 統括管理システム TRIPS アンテナ ボックス 採血管 スタンド</p>	 <p>全自動尿分取装置 UA・ROBO-2000RFID</p>		
	検体検査装置	 <p>血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル</p>	 <p>ハンディ型血液ガス分析器 GASTAT-navi</p>	 <p>電解質測定器 STAX-5 Inspire</p>	<p>&lt;その他&gt; 赤血球沈降速度測定装置 尿中酸化ストレスマーカー測定システム 等</p>	
消耗品等		 <p>各種採血管</p>	 <p>ラベル</p>	 <p>センサーカード</p>	 <p>電極</p>	 <p>ハレンカップ</p>

## <注意事項>

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。